

JR久留里線の廃線を許すな!

11・29 住民集会で次々に怒りの声



130人参加「地域ほとんど反対」

11月29日、久留里線と地域を守る会が主催して久留里線の廃線を許さない住民集会が開催されました。130人が集まり、住民の声を踏みにじって廃線方針を押しつけるJRと君津市に対する怒りの声が相次ぎました。

集会ではまず、久留里線の会、内房線の会、外房線の会、かずさ住民の足を守る会の地域4団体が発言しました。「地域・全国の廃線化に拍車をかける」「地方の消滅に関わる問題」など切実な思いと廃線化を許さない決意に満ちた訴えが行われました。

3人の君津市議や日大の桜井名誉教授、広島で芸備線廃線化に反対する方も参加。動労千葉の関委員長は労働組合として廃線化に反対し闘う決意を述べました。

沿線住民の発言は、JRや君津市への怒りとともに、地域全体に「廃線反対」の声が広がっていること、廃線阻止の強い決意が込められたものでした。

【参加者の発言より】

■ 地域には豊かな自然があり観光振興に活かせるのに市は無為無策。石井市長はJRのいいなり。来年の市長選では流れを変えよう。(亀山地区)

■ 120戸くらいの地区を全戸訪問し、署名を集めてきた。最初は仕方ないのではといった人も「まだ決まっていない」と訴えるとほぼ全員が署名。民意は反対だ。(松丘地区)

■ 自治会でまとめて署名をお願いしている。公民館祭りでも署名を訴えたら280筆ほど集まった。(久留里地区)

■ 「久留里線の存続を求める亀山の会」をたちあげた。みんなで議論して反対のビラをつくり13自治会の承認を得て回覧板にのせ、全世帯を回って署名を集めた。最初アンケートで反対といった人は半分くらいだったが、実際に回ったら圧倒的多数が残してほしいという意見だった。(亀山地区)

■ 君津市に意見書を出した。自分がかつて行政に携わった経験からも地元の声が一番大事だ。(袖ヶ浦市)

■ 久留里線は第二次大戦時に線路をはがされ、戦後、大運動をやって線路を再敷設した。公共交通を失えば地方はなくなっていく。それは命がなくなっていく問題でもある。それでいいのか。(木更津市)